

決算 令和元年度 審議

# 特別会計・事業会計 決算を認定



## 特別会計・事業会計について

一般会計は、議会費、総務費、民生費など、町の基本的な事業の経費をまとめた、町の中心的な会計です。特別会計は、一般会計と一緒に処理をすると内容がかえって分かりにくくなってしまふ事業を分けて、特別に設けられている会計です。

富士見町の特別会計には、**国民健康保険特別会計**、**後期高齢者医療特別会計**、**観光施設貸付事業特別会計**、**富士見財産区特別会計**の4会計があり、原則として、それぞれの特別会計の収入で、その事業の支出をまかなっています。

なお、このほかに地方公営企業会計（地方公共団体が社会公共の利益を目的として経営する企業）として、**水道事業会計**、**下水道事業会計**があります。



### 国民健康保険特別会計



歳入総額 **17億6900** 万円  
歳出総額 **14億5200** 万円

ここが課題

加入人数の減少と、一人当たりの医療費の高騰により、今後の保険事業は慎重に進めていかななくてはなりません。

### 後期高齢者医療特別会計



歳入総額 **2億5000** 万円  
歳出総額 **2億0900** 万円

ここが課題

徴収率は100%に近い状況。現役世代からの支援金も入って運営していますがその減少による後期高齢者の自己負担増が課題です。

### 観光施設貸付事業特別会計



歳入総額 **3億3100** 万円  
歳出総額 **1億7300** 万円

(R2年度への明許繰越1億4,900万円含まず)

ここが課題

老朽化する設備が増えていくことに、どう対応していくかが課題です。

### 富士見財産区特別会計



歳入総額 **1400** 万円  
歳出総額 **980** 万円

ここが課題

山林を整備し、山を守っていくための資金不足及び作業ができる人の確保が課題です。松くい虫への対応からも気が抜けません。

### 水道事業会計



歳入総額 **6億7800** 万円  
歳出総額 **10億1500** 万円

※ 歳入総額が歳出総額に対して不足する額は、積立金などの自己資金で補てんします。

ここが課題

上水道、下水道共に、施設の老朽化への対処、加入者の減少が課題です。

### 下水道事業会計



歳入総額 **13億9800** 万円  
歳出総額 **17億0400** 万円

## 監査委員の見解 「選択と集中」の観点で改善・改革を。



岩間監査委員

織田監査委員（議会選出）

令和元年度における各会計の歳入歳出決算書、同明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金の運用状況に関する調書は法令に準拠して作成されており、各係数及び記載事項は関係帳簿、証拠書類と一致しているものと認めます。ただし支出について年度内執行に注意を求めます。

なお急速に進む人口減少や少子高齢化に

対応した社会保障改革、公共施設個別施設計画や橋梁、横断歩道橋長寿命化修繕計画が策定され、加えてインフラの老朽化対策など将来に向けた投資的経費が膨らむことが予想されます。限られた行政資源を有効かつ効率的に活用し「選択と集中」の観点で各事業施策に行政目的の位置づけと評価を行い改善、改革に全庁挙げて取り組むように要望します。